

## 九州農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成22年10月28日)

開催日及び場所		平成22年9月22日(水曜日) 1号館5階会議室			
委員		松本津紀雄(弁護士) 竹下清(税理士) 藤田幹夫(ジャーナリスト) 飯村光敏(公認会計士)			
審議対象期間		平成22年4月1日～平成22年6月30日			
審議対象案件		289件 うち、1者応札案件89件 契約の相手方が公益法人等の案件41件			
抽出案件		10件 うち、1者応札案件2件 (抽出率2%) (抽出率20%) 契約の相手方が公益法人等の案件1件 (抽出率10%)			
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争		3件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名 競争	公募型指名競争		0件
			工事希望型競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			その他の指名競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
		随意契約		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
	業務	一般競争		0件	
		指名 競争	公募型競争		0件
			簡易公募型競争		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			その他の指名競争		0件
		随意 契約	公募型プロポーザル		0件
			簡易公募型プロポーザル		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			標準型プロポーザル		0件
	その他の随意契約		0件		
	物品・ 役務等	一般競争		1件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件1件	
指名競争		0件			
随意契約(企画競争・公募)		0件			
随意契約(その他)		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件			
(特記事項)					

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>I 平成22年度第1・四半期入札方式別発注状況について 意見・質問なし</p>	
	<p>II 抽出工事及び業務並びに物品・役務等契約について</p> <p>1. 工事 (1) 平成22年度筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業山脚導水路(大町工区)工事</p> <p>・落札した業者より安い金額で入札している業者もいるが、総合評価の評価値が低い ため落札できなかったのですか。</p> <p>・総合評価落札方式を行う根拠規則等はあるのですか。</p> <p>・総合評価の場合は、入札結果が会社の技術力や経営状態の評価に、結果が左右されるのですか。</p>	<p>・そのとおりです。 総合評価落札方式は、価格だけではなく、技術提案の内容も含めた評価値の高い者を落札者とするものです。</p> <p>・当省では農村振興局長の通知に基づき事務手続きを行っています。 なお、他省庁においても同様の手法で総合評価を行っています。</p> <p>・企業評価、技術者評価もありますが、技術提案の評価を重視した方式と考えています。</p>
	<p>(2) 平成22年度筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業山脚導水路(下小田東工区)工事</p> <p>・1者応札の案件は結構あるのですか。</p>	<p>・頻繁にはありません。 施工実績のあるB等級の業者が九州管内で16社あることを確認した上で手続きを行ったのですが、推進工を伴う大口径鋼管による管水路工事であったため、該当等級からの参加者が少なかったものと考えています。 その後の改善ですが、同様の工事について参加業者の等級をA等級まで拡大し、競争性の確保を図ったところ、応札者は10者ありました。</p>
<p>(3) 平成21年度玉名横島海岸保全事業堤防根固(菊池工区1)工事</p> <p>・本件工事については、予定価格ではC等級のものをB及びC等級へ拡大していますが、どのような基準で等級を決定しているのですか。</p>	<p>・予定価格に応じて等級を決定しますが、当該工事の同種工事の施工実績のある業者が、CORINS検索により少数の場合は等級を拡大しています。</p>	

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>(4) 平成21年度玉名横島海岸保全事業旧1号排水機場撤去その他工事</p> <p>・上屋の改修は、築何年位で行っているのですか。</p>	<p>・上屋については目安として40年程度経過した場合に、改修を検討しております。</p>
	<p>(5) 平成22年度ストックマネジメント技術高度化事業幹線水路岩神線補強工事</p> <p>・落札者は2回目の応札で当初応札価格から1割も下げているが、業者は採算がとれるのですか。</p>	<p>・業者の判断なので推測になりますが、本工事は既設管水路の補修を特殊な工法で行うものであり、今後の受注に向けた実績を作るために金額を下げられたのではないかと思います。</p>
	<p>(6) 西諸(一期)農業水利事業浜ノ瀬ダム第三期建設工事</p> <p>・二期、三期工事が随契になる理由は分かるのですが、一つの工事を分割して発注する理由を教えてください。</p> <p>・二期、三期工事は当初業者が請け負うことになるが、それを含んだ予定価格の積算を行っているのですか。</p> <p>・見積もり執行の落札率が非常に高いのはなぜですか。</p>	<p>・ダム工事等は工期が複数年度となりますので、国庫債務負担行為による予算を活用しますが、予算制度上5年が上限となっているため、それを超える工期の場合には分割することになります。</p> <p>・二期、三期工事については全体を含めた工事費に対する諸経費等を使用して積算しています。</p> <p>なお、当初工事の入札時点で二期、三期を含めた全体工事規模、二期、三期については随契の予定があることを参加業者へ提示しています。</p> <p>・長期間にわたり同一現場で工事を行っているため、積算の精度が高くなっていると思われます。</p>
	<p>2. 業務</p> <p>(1) 平成22年度諫早湾環境影響評価海域流動・水質等検討業務</p> <p>・プロポーザル契約の技術提案書審査は誰が行っているのですか。</p>	<p>・担当課長及び課長補佐、技術事務所次長、設計課技術審査官で構成する建設コンサルタント選定委員会幹事会で提案書の評価を行い、その評価結果を、整備部長を委員長とする建設コンサルタント選定委員会で審査します。</p>

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数人で審査結果はまとまるのですか。恣意的な審査になることはありませんか。</li> <li>・実際に開門して調査を行うのですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的な評価に努め、幹事会メンバーが合議により評価を決定します。 なお、評価結果は業者へ通知しますが、評価について異議申し立てがあったことはありません。</li> <li>・モデルを使って予測を行います。</li> </ul>
	<p>(2) 平成22年度農地等整備・保全推進環境調査漁業状況調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札調査実施により無効になることは多いのですか。</li> <li>・今回、無効になった業者は必要書類を全て提出しなかったのですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くはありません。</li> <li>・業務説明書で、低入札の場合に提出を求めることを明示している「第三者照査技術者を確認できる資料」の提出がありませんでした。</li> </ul>
	<p>3. 物品・役務等</p> <p>(1) 平成22年度国営干拓環境対策調査ナルトビエイ標識放流調査業務</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>(2) 平成22年度有明海特産魚介類生息環境調査(佐賀県沖)委託事業</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>Ⅲ 再度入札における一位不動状況について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>Ⅳ 指名停止について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。	
[これらに対し部局長が講じた措置]	なし。	

事務局：九州農政局総務部総務課

(注1)必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所用の変更を加えることができる。

(注2)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人又は公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。